

令和3年に入り、自治会の皆様も益々ご清祥のことと存じます。新春イベントも検討しましたが、緊急事態宣言が新年早々に行われ、その中でもできる企画等を検討しましたが、緊急事態下ということもあり見合わせました。早く正常状態に戻り、また円満な自治会活動を再開できればと願っております。以下、前号昨年11月からの活動と今後の予定等をお知らせします。

■11月～2月の活動

12月	13日 (日)	日赤赤い羽根共同募金	13,721円募金ありました！ありがとうございました！
	20日 (日)	歳末助け合い募金	5,472円募金ありました！ありがとうございました！
	20日 (日)	クリスマスイベント	79世帯、122名のお子様の参加がありました！

役員会・・・11/28 (土)、12/19 (土)、1/30 (土)、2/27 (土)

※役員会はZoom併用で行っております。役員会にご興味がある方もご参加いただけます！

自治町会長会議・・・11/18 (水)、1/20 (水) ※12月、1月新年会等はコロナ対策で開催中止。

■3月以降の活動

※あくまでも予定のため、変更となる場合があります。

3月	21日	年度末感謝還元企画！	還元イベントとして会員世帯に食事券を配布するとともに、コミュニティルームにおいて、自治会員限定抽選会や子供お菓子詰め配布等を企画。
5月	30日	クリーン作戦	地域清掃活動を検討中
6月	中旬頃	通常総会	
5～6月		イベント	コロナ禍でできる企画を検討中

役員会・・・毎月最終土曜日

自治町会長会議・・・3月17日(水)、4月以降は未定

「クリスマスイベントin2020」を開催しました！

昨年12月20日(日)に、2018年、2019年とご好評をいただきました「クリスマスイベントin2020」を開催しました。コロナ禍、開催に際して様々な対処をしながら実施し、結果89世帯、122名の子どもたちの参加、大盛況となりました。今回は会員一堂に会してではなく、世帯ごとにサンタさんとじゃんけんゲーム、そして一緒に写真撮影等を行いました。3密を避けながら、サンタさんと子供たちはかえって密になれたのではと思います。



マスクサンタがやってきた!?



サンタさんとプレゼントかけて
じゃんけん勝負！

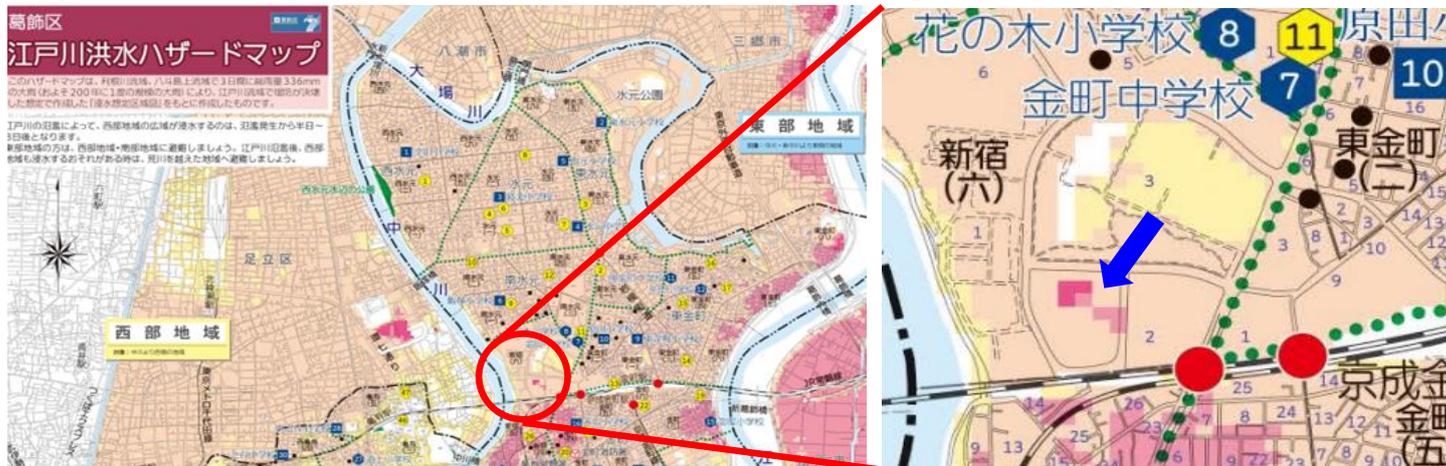


裏面あります！昨年勉強会のハザードマップ疑問点の回答を掲載しています！

■ 昨年の水害対策勉強会での質疑について行政に回答いただきました！

昨年9月27日に自治会・管理組合連携の勉強会として「命を守る水害対策勉強会」を実施し、その様子や主な質疑回答は、前号の自治会通信でもご報告しました。当日は、主として、令和2年2月に全面改訂しました新たなハザードマップを行政の方からご説明いただき、それらに対し住民の方から質疑等をいただく内容でした。この中で、江戸川が氾濫決壊となった場合や高潮による氾濫となった場合における新たなハザードマップにおいて、当敷地の部分が周辺より浸水被害が深刻になる表記となっており、この点について質問がなされましたが、当日は十分な回答までは得られませんでした。

その後、この点について、再度行政に質疑する機会があり、回答を得られましたのでご報告します。



Q:配布のハザードマップにおいて、「江戸川浸水想定区域図」及び「高潮による氾濫」における浸水想定において、当敷地内でスポット的に5m以上の想定(赤色)がされています。想定位置から、当敷地内のA棟(37階タワー棟)の建物敷地下に思われますが、A棟敷地は、周囲より特段低位ではないが、周囲より浸水想定が深度になっている事由についてお聞かせ願いたい。

A:[葛飾区 危機管理課より回答]

当課でも、質疑を受けて、現地に行き、当該敷地が周囲より特段低位になっていないことは現認した。ハザードマップの作製は、国土交通省所管で、実際は、国土地理院の地理院地図における見解によって作製されている。今回のハザードマップは、平成26年9~10月頃における航空写真地図において、地表の凹凸等を読み取りつつ、浸水想定を行っている。実際の、国土地理院における当時の分析根拠について区ではそこまではわからないが、おそらく平成26年秋頃は、当該敷地は、建設工事中であり、地下掘削工事時期にあたり、それが航空写真において凹部として低位に判定されたものと思われる。

現在では、建物は竣工しており、周囲より低位ではないので、現時点での浸水想定は、この周辺と同じであり、肌色(0.5m以上3m未満の浸水想定最大規模)であると言える。

この修正は、次回ハザードマップの微修正版には反映されないが、約5年に一度程度行う大きな改訂の際には、直されると思われる。



葛飾区危機管理課の方より、上記のようにご回答をいただきました。

平成26年秋時点での一時的な凹部認定によるものと推察され、現在の敷地状況において、特段周辺より低位ではなく、浸水想定も周辺に劣後しないとのことです。

少し安心するとともに、この部分だけ赤表記(浸水最大想定5m以上)であった疑問が解けた感がありましたが、皆様はいかがでしたでしょうか。今回は、区の方も現地確認にまで来られたようで、誠意ある対応に感謝です。

今後も住民の皆様の疑問等、自治会として必要に応じ、行政等に問い合わせたり、勉強会をお願いする等検討してまいりますので、皆様からのご意見、ご質問等ございましたら、自治会まで(下記問い合わせ先)お願いいたします！

自治会会員募集中！

お問い合わせはこちら contact@ct-k.tokyo

自治会ホームページはこちらのQRコードから 情報を随時アップしていきます！

